

Global Mix

グローバルミックスの現況

特別勘定(変額保険用) 月次運用報告書(2008年10月)

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
2008年10月における特別勘定(変額保険用)の運用状況をご報告致します。
なお、毎月の運用状況は、弊社ホームページにおいてもご覧いただけます。

ホームページアドレス

<http://www.axa.co.jp/life/>

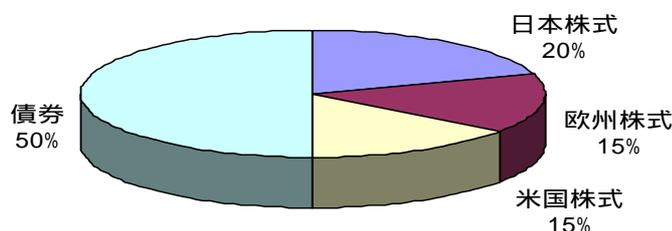
特別勘定の運用方針

日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長を目指します。為替リスクは、原則として、フルヘッジします。基本的な資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。特別勘定の運用は、各投資信託(ファンド)の買付けを含め、アクサ生命保険株式会社投資性プロフィットセンター ファンドマネジメント・チームが行います。特別勘定の運用においては、アクサ・グループの運用会社(運用協力会社)の運用するファンドを買付けます。運用協力会社およびファンドは、今後予告なく変更される可能性があります。変更については、随時お知らせいたします。各ファンドの資産配分比率は、金融情勢、経済動向などにより変更することがあります。

目次

特別勘定の運用方針	1
運用協力会社のご紹介	1
運用環境について	2
特別勘定の資産内容について	3
各ファンドについて	4-6
注意事項	6
契約月別の運用実績の例	7-9

(グローバルミックスの資産配分比率)



* 上記は設定当初の資産配分比率です。
* 資産配分比率は、将来的には変更されることがあります。

運用協力会社(ファンドの運用会社)のご紹介

アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

- ・当該資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当該資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当該資料は、当社の変額保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当該資料の運用実績に関する内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当該資料に記載されている各表にある金額、比率等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

運用環境について(2008年10月)

【日本株式市場】

日本株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、世界的に株価が急落する中、日経平均が 23.83%、TOPIXが 20.26%となりました。当月は金融システム不安に加え景気後退がより鮮明になるなど市場環境が悪化する中、ファンドの換金売りと見られる大量売りで市場は大幅に下落しました。日経平均は月初11,000円台半ばで始まった後、10月28日には一時7,000円を割り込み26年ぶりの安値をつけるなど変動率でも歴史的な高水準となりました。

中小・新興市場も大幅に下落していますが、当月は海外景気や外国人投資家動向の影響を受けにくいと思われる銘柄については相対的に下落幅が小さくなりました。東証2部および日経ジャスダック平均はそれぞれ 16.08%、15.80%となりました。需給面では当月は海外勢の売りと国内の買いという構図が鮮明となりました。10月第4週までの動きで、換金売りの続(外国人投資家が前月に引き続き約6,500億円の大規模売り越しとなりました。一方個人が約9,200億円と大規模な買い越しとなりました。また信託銀行も約7,800億円の大規模な買い越しとなりました。

【米国株式市場】

米国株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、S&P500種株価指数は 16.94%、ダウ平均株価は 14.06%、ナスダック指数は 17.73%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

月初の米国株式市場は、世界的な景気減速への懸念や金融システム不安を背景に大幅に下落しました。ISM製造業景況感指数、雇用統計等が市場予想を下回ったことや、各業種の企業決算が軟調であったことから上値の重い展開が続きました。月半ばには、英国政府による大手3金融機関への公的資金注入、ユーロ圏首脳会議で打ち出された金融危機対策が好感されたことに加え、米政府による金融機関への公的資金注入の観測から急反発しました。しかし、小売売上高が市場予想を下回ったこと、米地区連銀経済報告書(ページブック)において12地区全域の経済活動の鈍化が報告されたことや企業業績見通しの下方修正を受けて再び下落しました。月末には、株価水準が大幅に切り下げられたところに、ヘッジファンドの解約などに伴う売り圧力が一旦出尽くしたことに加えて、利下げ期待も好材料となり、市場は反発して月を終えました。

【欧州株式市場】

欧州株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、MSCI欧州株価指数は 13.57%、英FT100指数は 10.71%、仏CAC指数は 13.52%、独DAX指数は 14.46%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

月初の欧州株式市場は、世界的な金融システム不安の拡大から前月に続いて大幅な下落となりました。米国のISM製造業景況感指数やユーロ圏の経済指標がいずれも急速な悪化を示したこと、またアイスランド政府が金融非常事態宣言を行なうなど、欧州株式市場では売りが加速しました。この市場環境を受け、欧米主要5ヶ国を中心とした中央銀行は8日に異例の協調利下げを行ないました。それでも欧州株式市場の動向を代表するMSCI欧州株価指数は第2週で20%超の下落をしました。10日に開催されたG7(先進7ヶ国財務省・中央銀行総裁会議)では、金融機関への公的資金注入を柱とする行動計画が策定されました。金融危機への世界的な協調姿勢が示されたことで、13日の欧州株式市場は急反発しました。その後も上下に大きく変動する展開が続きましたが、月末にかけては利下げに消極的だった欧州中央銀行(ECB)のトリシェ総裁が「利下げの可能性を考慮している」と発言したことや、米国に先んじて金融機関への公的資金注入を行なったことで、市場は反転しました。

【国内債券市場】

国内債券市場は、米金融不安の拡大、国内外の景気後退懸念の強まりから、質への逃避や持ち高整理の動きを強め、振れ幅は大きく方向感のない動きとなりました。

1.5%水準で始まった10年国債利回りは、月前半、米金融危機の波及懸念や株安による「質への逃避」、米金融安定化法案の実効性に対する懸念等を材料に、1.4%割れ水準まで低下しました。8日には日本を除く主要国地域が協調利下げに踏み切ったものの、世界的な株安は止まらず、持ち高整理の動きが債券市場にも波及し金利は急上昇しました。その後月末にかけては、世界的な景気後退観測や円高、日銀の利下げ観測の高まりを受け、1.5%割れ水準まで金利低下が進みました。日銀は、月末に0.20%の利下げを行ない、金融不安や景気後退懸念に対処する姿勢を示しました。

(参考指標)

		2008年9月末	2008年10月末	変化率
日本	TOPIX(東証株価指数)	1,087.41 ポイント	867.12 ポイント	-20.26%
	日経平均	11,259.86 円	8,576.98 円	-23.83%
	新発10年国債	1.480 %	1.480 %	± 0.000%
米国	NYダウ	10,850.66 ドル	9,325.01 ドル	-14.06%
	S&P500	1,166.36 ポイント	968.75 ポイント	-16.94%
	NASDAQ	2,091.88 ポイント	1,720.95 ポイント	-17.73%
	10年国債	3.823 %	3.953 %	0.141%上昇
欧州	FT100	4,902.45 ポイント	4,377.34 ポイント	-10.71%
	CAC40	4,032.10 ポイント	3,487.07 ポイント	-13.52%
	DAX	5,831.02 ポイント	4,987.97 ポイント	-14.46%
	独10年国債	4.015 %	3.900 %	0.115%低下
為替	米ドル/円レート	103.57 円	98.40 円	4.99%円高
	ユーロ/円レート	149.05 円	125.89 円	15.54%円高

* 各国10年国債は、ジェネリック日本指標国債10年単利(日本)、ジェネリック米国利回り10年(米国)、ドイツ国債10年の利回り(欧州)を表示しております。

* 為替は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

特別勘定の資産内容について(2008年10月)

【特別勘定のINDEXの推移】

「特別勘定のINDEX」とは、弊社が変額保険「Global Mix」に係る資産の管理・運用を行っている特別勘定の資産運用状況を表す指数をいいます。この数値は毎日増減し、ご契約の積立金の金額もこれにともない増減いたします。



日付	INDEX
07/11/30	0.982
07/12/31	0.978
08/01/31	0.935
08/02/29	0.941
08/03/31	0.914
08/04/30	0.947
08/05/31	0.959
08/06/30	0.927
08/07/31	0.922
08/08/31	0.916
08/09/30	0.851
08/10/31	0.789

【騰落率】

過去1ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去2年	過去3年	設定来
-7.26%	-16.68%	-21.77%	-19.09%	-14.53%	-21.05%

注) 設定日である2000年8月1日を1.00としたパフォーマンスを示しています。

注) 騰落率とは、一定期間における運用実績の変動率のことです。

注) 上記の数値は過去の運用実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。

注) この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられるものを控除した部分の伸び率です。

【特別勘定資産の内訳】

項目	金額 (千円)	構成比 (%)
預貯金・コールローン	659,121	2.1
日本株式型投資信託 (アクサR)	2,736,983	8.8
日本株式型投資信託 (アクサR)	3,962,084	12.8
米国株式型投資信託(アクサR)	4,340,552	14.0
欧州株式型投資信託(アクサR)	2,907,167	9.4
日本債券型投資信託(アクサR)	15,852,478	51.1
その他	591,037	1.9
特別勘定合計	31,049,425	100.0

注) 金額の単位未満は切り捨てとしました。また、比率については小数点第2位を四捨五入しておりますが、合計値に対する調整は行っていません。

【保有契約高】

項目	件数 (件)	金額 (千円)
有期型	1,077	2,484,807
終身型	54,099	288,865,513
合計	55,176	291,350,320

注) 金額の単位未満は切り捨てとしました。

【特別勘定の解説】

当特別勘定は原則として、50%を安全資産での運用にしております。

積極的な運用を目指す株式部分は、当面日本株で全体の25%、欧米株式で25%の資産配分といたします。

リスク分散の観点から、少数銘柄に偏ることなく、資産種類および各資産ごとの分散投資を心掛け、バランスのとれた運用を行います。

【今後の運用方針】

特別勘定の運用資産における株式と債券の組入れ比率は現行水準を継続します。また、投資対象を幅広く分散することでより安定的な運用を行ってまいります。

(アクサ生命保険株式会社 ファンドマネジメント・チーム)



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

日本株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

【運用方針】: わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に投資することで、安定的にベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。
「アクサ・ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

【ベンチマーク】: TOPIX

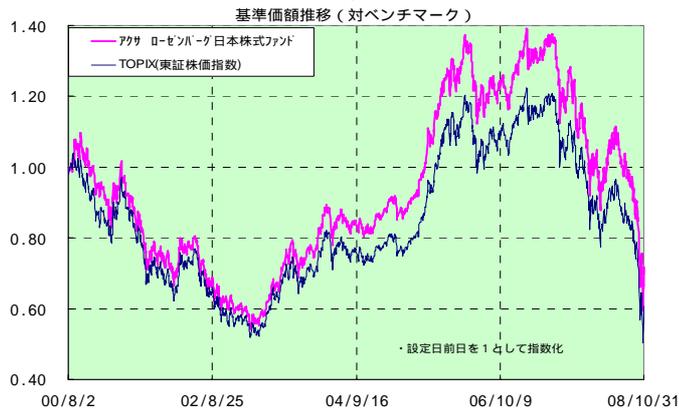
【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが 20.26%であったのに対し、当ファンドは、17.75%となりました。
当月の日本株式市場は、売買活況度の高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことがプラスに寄与しました。
運用協会社独自の業種別では、相対的に上昇した不動産と電力を少なめに保有していたことや、下落した銀行を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。
個別銘柄では、相対的に下落したみずほフィナンシャルグループ(8411)、新生銀行(8303)などをベンチマーク対比で少なめに保有していたことや、上昇したキユーピー(2809)を多めに保有していたことなどはプラスに寄与しました。

【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。
割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)



組入上位銘柄

	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.0%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.2%
3	本田技研工業	輸送用機器	1.5%
4	キヤノン	電気機器	1.4%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.4%
6	東京海上ホールディングス	保険業	1.4%
7	武田薬品工業	医薬品	1.4%
8	任天堂	その他製品	1.3%
9	日本電信電話	情報・通信業	1.3%
10	東京電力	電気・ガス業	1.3%
合計			18.2%
組入銘柄数			555銘柄

*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

日本バリュー株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

【運用方針】: わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。
「アクサ・ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

【ベンチマーク】: TOPIX

【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが 20.26%であったのに対し、当ファンドは、20.69%となりました。
当月の日本株式市場は、売買活況度の高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことがプラスに寄与しましたが、主として業種別要因と個別銘柄要因が足を引っ張る形となりました。
運用協会社独自の業種別では、相対的に下落した石油を多めに保有していたことや、上昇した不動産と電力を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。個別銘柄では、下落した日立製作所(6501)や国際石油開発帝石(1605)などをベンチマーク対比で多めに保有していたことや、上昇した東京電力(9501)を保有していなかったことはいずれもマイナスに寄与しました。

【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。
割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)



組入上位銘柄

	銘柄	業種	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.5%
2	日本電信電話	情報・通信業	3.5%
3	トヨタ自動車	輸送用機器	2.9%
4	東海旅客鉄道	陸運業	2.6%
5	東日本旅客鉄道	陸運業	2.4%
6	花王	化学	2.4%
7	アステラス製薬	医薬品	2.3%
8	パナソニック	電気機器	2.3%
9	日産自動車	輸送用機器	2.2%
10	日立製作所	電気機器	2.2%
合計			27.3%
組入銘柄数			435銘柄

*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注)ここでは、特別勘定から買付けのファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

欧州株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

[運用方針]: 幅広い投資対象(欧州約3,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。

「アクサ・ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

[ベンチマーク]: MSCI 欧州株価指数(為替ヘッジあり)

[運用状況]

当月はベンチマークであるMSCI欧州株価指数が 14.70%であったのに対し、当ファンドは 12.08%となりました。

当月の欧州株式市場は、相対株価上昇度の高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、業種別要因や個別銘柄ではプラスに寄与しました。

運用協力会社独自の業種別では、上昇した石油メジャーをベンチマーク対比で多めに保有していたことや、下落したその他金融、機械を少なめに保有していたことはいずれもプラスに寄与しました。

個別銘柄では、上昇した医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスのサノフィ・アベンティス(フランス)やエネルギーのトタル SA(フランス)をベンチマーク対比で多めに保有していたことや、下落した保険のAXA(フランス)を少なめに保有していたことはいずれもプラスに寄与しました。

[今後の運用方針]

当ファンドの運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。

割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)



組入上位銘柄			
	銘柄	業種	比率
1	BP PLC	エネルギー	3.6%
2	トタル SA	エネルギー	2.6%
3	ネスレ	食品・飲料・タバコ	2.5%
4	HSBC ホールディングス PLC	銀行	2.4%
5	ロイヤル・ダッチ・シェル PLC-A SHS	エネルギー	2.2%
6	ノバルティス AG-REG SHS	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.8%
7	エーオン	公益事業	1.8%
8	サノフィ・アベンティス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.8%
9	サンタンデル銀行	銀行	1.7%
10	ボーダフォン・グループ PLC	電気通信サービス	1.6%
合計			22.0%
組入銘柄数			294銘柄

*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

米国株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

[運用方針]: 幅広い投資対象(米国約6,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。

「アクサ・ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

[ベンチマーク]: S & P 500(為替ヘッジあり)

[運用状況]

当月はベンチマークであるS&P500種株価指数が 14.16%であったのに対し、当ファンドは 12.67%となりました。

当月の米国株式市場は、相対株価上昇度の高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

運用協力会社独自の業種別では、下落したREIT(不動産投資信託)を保有していなかったことや、その他金融を少なめに保有していたこと、また上昇したバイオテクノロジーを多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

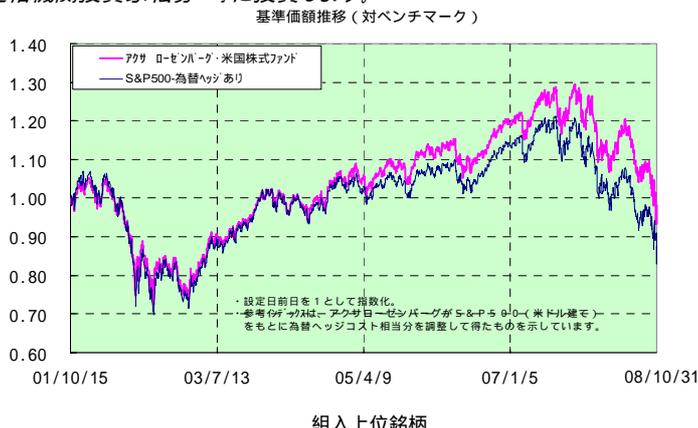
個別銘柄では、上昇した医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスのギリアド・サイエンシズ、プリストル・マイヤーズ・スクイブ、小売のファミリー・ダラー・ストアーズをベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

[今後の運用方針]

当ファンドの運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。

割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)



組入上位銘柄			
	銘柄	業種	比率
1	エクソンモービル	エネルギー	4.3%
2	マイクロソフト	ソフトウェア・サービス	2.4%
3	シェブロン	エネルギー	2.3%
4	AT&T	電気通信サービス	2.1%
5	ゼネラル・エレクトリック	資本財	2.1%
6	IBM	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.9%
7	プロクター・アンド・ギャンブル	家庭用品・パーソナル用品	1.8%
8	ジョンソン・エンド・ジョンソン	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.6%
9	ベライゾン・コミュニケーションズ	電気通信サービス	1.6%
10	ファイザー	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.4%
合計			21.5%
組入銘柄数			290銘柄

*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

日本債券ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

【運用方針】: 主としてわが国ならびに外国の公社債投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
「アクサ・ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

【ベンチマーク】: 日興債券パフォーマンス・インデックス中期総合

【運用状況】

当月の当ファンドは+0.58%となり、ベンチマークは+0.72%となりました。企業景況感は急激な悪化をたどり、景気後退懸念が高まっています。物価は安定方向となりましたが、米国の信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)問題や金融不安が市場の混乱を誘発しており、リスク回避的な判断を維持しました。従って、デュレーション戦略は中立とし、パフォーマンスに大きな寄与はありませんでした。しかし、対国債利回り格差が急拡大したことにより社債保有はマイナス寄与となり、海外投資家の持ち高整理の動きから大幅に下落したインフレ連動債の保有もマイナス寄与となったことから、全体でもマイナスのパフォーマンスとなりました。

基準価額推移(対ベンチマーク)



【今後の運用方針】

日銀は、米サブプライムローン問題や金融不安等の不確実要素に対する懸念と国内の実体経済の悪化懸念を強めています。インフレ懸念は落ち着きつつあり、日銀は、世界的な金融危機や景気減速に対処するため国際協調姿勢を強めています。今後景気の後退感が国内外共に更に強まることが予想され、これらの不確実要素が実体経済に与える影響を考え合わせれば、日銀は金融緩和姿勢への政策転換を模索するものと考えられます。従って、当面はより景気に配慮をした金融政策運営を行なっていくと考えています。当ファンドでは、国内要因、外的要因の影響等を注視し、金融政策変更の影響も考慮しつつ運用を行なっていく方針です。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本債券運用チーム)

信託財産の構成

	組入比率	デュレーション
公社債	100.4%	4.58年
短期資産等*	0.2%	0.00年
合計	100.6%	4.60年

* 債券先物を含む

信託財産の内訳

	組入比率	デュレーション
国債	78.1%	5.09年
地方債	0.0%	0.00年
特殊・財投債	5.9%	3.13年
金融債	0.5%	1.63年
社債等	15.9%	2.70年
コールローンその他*	0.2%	0.00年
合計	100.6%	4.60年

* 債券先物を含む

公社債の格付別構成比率

格付区分**	構成比率
AAA	6.9%
AA	87.8%
A	4.8%
BBB	0.5%
BB以下	0.0%
合計	100.0%

** S&P格付を優先

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

注意事項

変額保険の仕組み
 変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。
 *特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

変額保険のリスクについて
市場リスク
 特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

信用リスク
 万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約月別の運用実績の例

(一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年)

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成12年 8月 1日	1,000	-473	1,000	-442	-21.05	-2.82
平成12年 9月 1日	1,000	-480	1,000	-449	-22.22	-3.03
平成12年 10月 1日	1,000	-461	1,000	-430	-20.00	-2.72
平成12年 11月 1日	1,000	-444	1,000	-415	-18.19	-2.48
平成12年 12月 1日	1,000	-426	1,000	-397	-16.10	-2.19
平成13年 1月 1日	1,000	-409	1,000	-381	-14.25	-1.94
平成13年 2月 1日	1,000	-419	1,000	-390	-15.81	-2.20
平成13年 3月 1日	1,000	-388	1,000	-361	-12.22	-1.69
平成13年 4月 1日	1,000	-370	1,000	-344	-10.25	-1.42
平成13年 5月 1日	1,000	-390	1,000	-363	-13.11	-1.86
平成13年 6月 1日	1,000	-383	1,000	-356	-12.57	-1.80
平成13年 7月 1日	1,000	-371	1,000	-345	-11.36	-1.63
平成13年 8月 1日	1,000	-348	1,000	-322	-8.75	-1.25
平成13年 9月 1日	1,000	-314	1,000	-290	-4.83	-0.69
平成13年 10月 1日	1,000	-272	1,000	-250	0.04	0.01
平成13年 11月 1日	1,000	-286	1,000	-263	-2.01	-0.29
平成13年 12月 1日	1,000	-290	1,000	-267	-2.92	-0.43
平成14年 1月 1日	1,000	-289	1,000	-267	-3.22	-0.48
平成14年 2月 1日	1,000	-265	1,000	-243	-0.58	-0.09
平成14年 3月 1日	1,000	-271	1,000	-249	-1.68	-0.25
平成14年 4月 1日	1,000	-283	1,000	-260	-3.47	-0.54
平成14年 5月 1日	1,000	-277	1,000	-254	-3.05	-0.48
平成14年 6月 1日	1,000	-278	1,000	-256	-3.61	-0.57
平成14年 7月 1日	1,000	-245	1,000	-224	0.12	0.02
平成14年 8月 1日	1,000	-215	1,000	-193	3.60	0.57
平成14年 9月 1日	1,000	-212	1,000	-190	3.59	0.57
平成14年 10月 1日	1,000	-186	1,000	-164	6.54	1.05
平成14年 11月 1日	1,000	-183	1,000	-161	6.53	1.06
平成14年 12月 1日	1,000	-194	1,000	-173	4.68	0.78
平成15年 1月 1日	1,000	-170	1,000	-148	7.42	1.24
平成15年 2月 1日	1,000	-147	1,000	-124	9.99	1.67
平成15年 3月 1日	1,000	-140	1,000	-118	10.42	1.76



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (大代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	-136	1,000	-113	10.55	1.81
平成15年 5月 1日	1,000	-149	1,000	-127	8.30	1.46
平成15年 6月 1日	1,000	-161	1,000	-139	6.44	1.16
平成15年 7月 1日	1,000	-176	1,000	-154	4.20	0.77
平成15年 8月 1日	1,000	-183	1,000	-162	2.88	0.54
平成15年 9月 1日	1,000	-189	1,000	-168	1.74	0.33
平成15年 10月 1日	1,000	-190	1,000	-169	1.29	0.25
平成15年 11月 1日	1,000	-198	1,000	-177	-0.10	-0.02
平成15年 12月 1日	1,000	-194	1,000	-172	0.06	0.01
平成16年 1月 1日	1,000	-202	1,000	-181	-1.29	-0.27
平成16年 2月 1日	1,000	-211	1,000	-189	-2.70	-0.57
平成16年 3月 1日	1,000	-219	1,000	-198	-4.07	-0.89
平成16年 4月 1日	1,000	-229	1,000	-208	-5.61	-1.25
平成16年 5月 1日	1,000	-226	1,000	-205	-5.65	-1.28
平成16年 6月 1日	1,000	-217	1,000	-195	-4.83	-1.11
平成16年 7月 1日	1,000	-224	1,000	-203	-6.11	-1.44
平成16年 8月 1日	1,000	-209	1,000	-187	-4.58	-1.10
平成16年 9月 1日	1,000	-207	1,000	-186	-4.77	-1.17
平成16年 10月 1日	1,000	-206	1,000	-184	-4.92	-1.23
平成16年 11月 1日	1,000	-201	1,000	-180	-4.72	-1.20
平成16年 12月 1日	1,000	-209	1,000	-187	-5.97	-1.56
平成17年 1月 1日	1,000	-219	1,000	-198	-7.54	-2.02
平成17年 2月 1日	1,000	-217	1,000	-196	-7.64	-2.10
平成17年 3月 1日	1,000	-227	1,000	-206	-9.09	-2.57
平成17年 4月 1日	1,000	-225	1,000	-204	-9.25	-2.67
平成17年 5月 1日	1,000	-210	1,000	-189	-7.87	-2.32
平成17年 6月 1日	1,000	-217	1,000	-196	-8.99	-2.72
平成17年 7月 1日	1,000	-225	1,000	-204	-10.23	-3.19
平成17年 8月 1日	1,000	-232	1,000	-212	-11.41	-3.66
平成17年 9月 1日	1,000	-235	1,000	-215	-12.07	-3.98
平成17年 10月 1日	1,000	-258	1,000	-238	-15.00	-5.13
平成17年 11月 1日	1,000	-251	1,000	-231	-14.53	-5.10
平成17年 12月 1日	1,000	-268	1,000	-268	-16.74	-6.09
平成18年 1月 1日	1,000	-279	1,000	-278	-18.24	-6.86
平成18年 2月 1日	1,000	-287	1,000	-286	-19.38	-7.53



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (大代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成18年 3月 1日	1,000	-280	1,000	-279	-18.96	-7.58
平成18年 4月 1日	1,000	-284	1,000	-283	-19.69	-8.14
平成18年 5月 1日	1,000	-280	1,000	-279	-19.52	-8.32
平成18年 6月 1日	1,000	-252	1,000	-251	-16.76	-7.31
平成18年 7月 1日	1,000	-252	1,000	-251	-17.04	-7.69
平成18年 8月 1日	1,000	-249	1,000	-249	-17.05	-7.97
平成18年 9月 1日	1,000	-261	1,000	-279	-18.66	-9.09
平成18年 10月 1日	1,000	-259	1,000	-275	-18.71	-9.46
平成18年 11月 1日	1,000	-260	1,000	-274	-19.09	-10.05
平成18年 12月 1日	1,000	-258	1,000	-270	-19.20	-10.53
平成19年 1月 1日	1,000	-270	1,000	-280	-20.78	-11.93
平成19年 2月 1日	1,000	-275	1,000	-283	-21.61	-12.99
平成19年 3月 1日	1,000	-274	1,000	-279	-21.76	-13.69
平成19年 4月 1日	1,000	-271	1,000	-274	-21.76	-14.36
平成19年 5月 1日	1,000	-274	1,000	-275	-22.36	-15.53
平成19年 6月 1日	1,000	-278	1,000	-278	-23.12	-16.94
平成19年 7月 1日	1,000	-274	1,000	-273	-22.92	-17.74
平成19年 8月 1日	1,000	-258	1,000	-258	-21.59	-17.68
平成19年 9月 1日	1,000	-244	1,000	-244	-20.42	-17.78
平成19年 10月 1日	1,000	-253	1,000	-252	-21.62	-20.14
平成19年 11月 1日	1,000	-252	1,000	-251	-21.77	-21.77

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

- (2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成20年10月末までの運用実績を示したものです。
 なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。
- (3) 年複利は、契約月別運用実績を年複利換算したものです。

